

住宅と省エネと健康に関する 実態調査結果

住宅と省エネと健康に関する実態調査

□調査対象者

建築関係団体、ハウスメーカー等を対象（次ページ）

□調査方法

○配布：令和5年10月下旬に調査票送付

○回収：令和5年11月7日までに回収

○回収率：91.3%（配布数23、回収数21）

○調査項目：問1～問9

○その他：確認のため2社にヒアリング

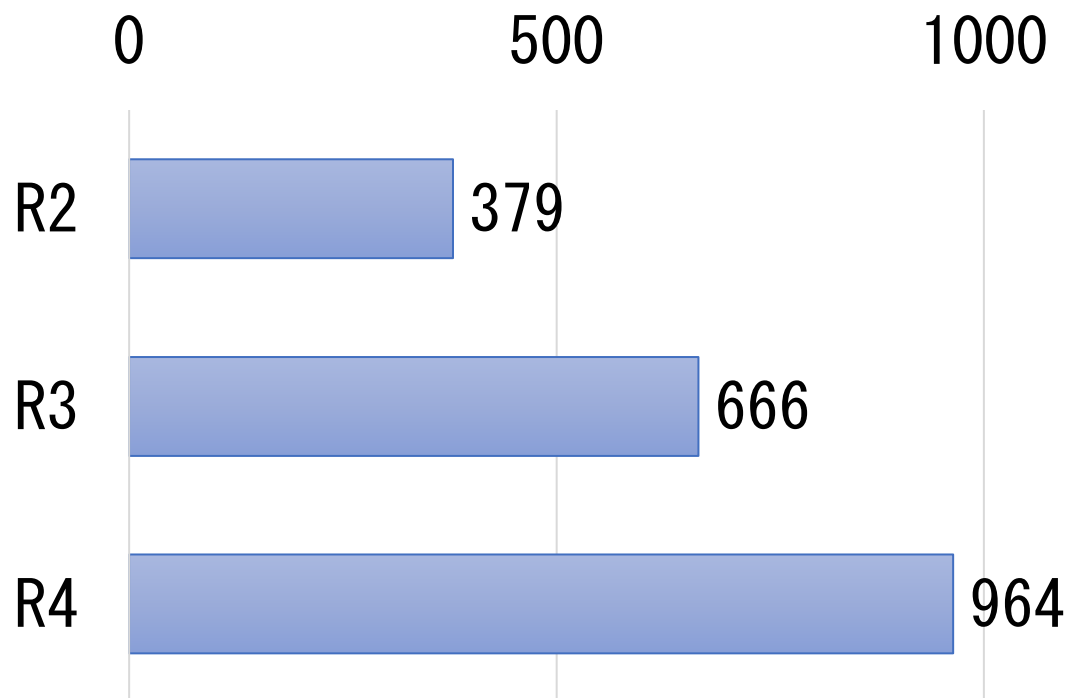
住宅と省エネと健康に関する実態調査

□調査対象者の内訳

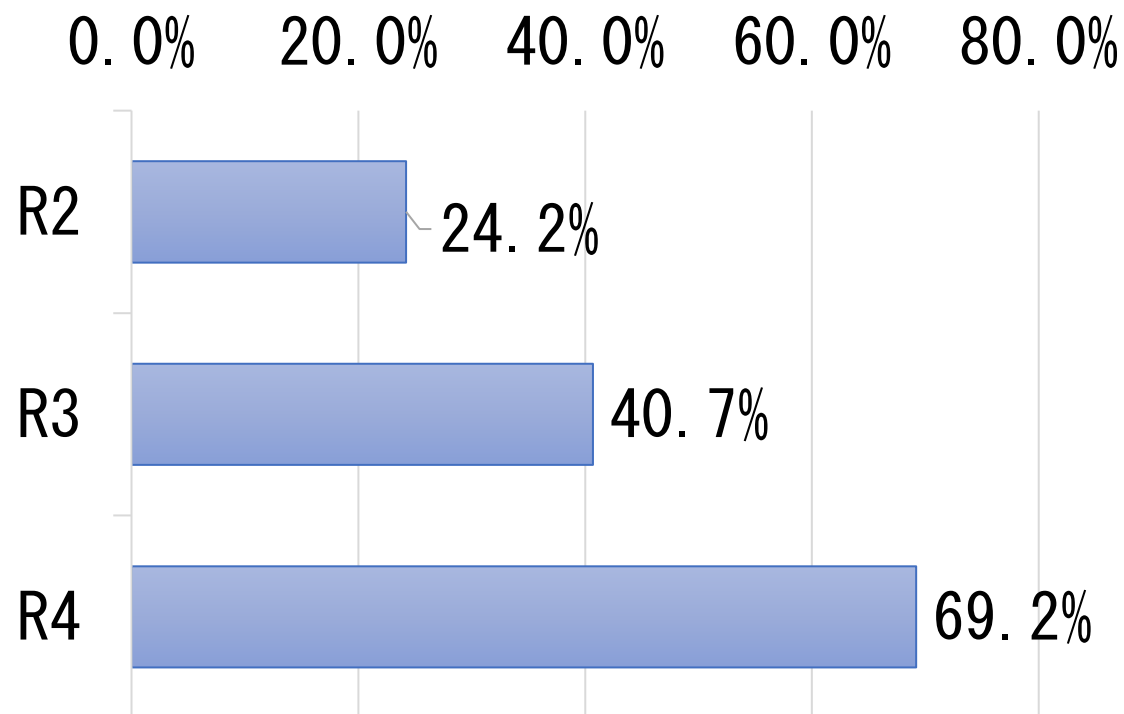
建築関係団体	団体名	対象数
設計関係	(公社) 富山県建築士会	2
	(一社) 富山県建築士事務所協会	2
	(公社) 日本建築家協会北陸支部	2
ハウスメーカー	(一社) 富山県住宅宅地協会	5
	(一社) 富山県優良住宅協会	5
	富山県近代住宅振興会	1
	(一社) 日本ツバイフォー建築協会北陸支部	1
上記以外	建材メーカー	2
	エネルギー事業者	3
	計	23

【問1】 ZEH水準以上の供給実績について（新築）

年度別ZEH水準以上戸数

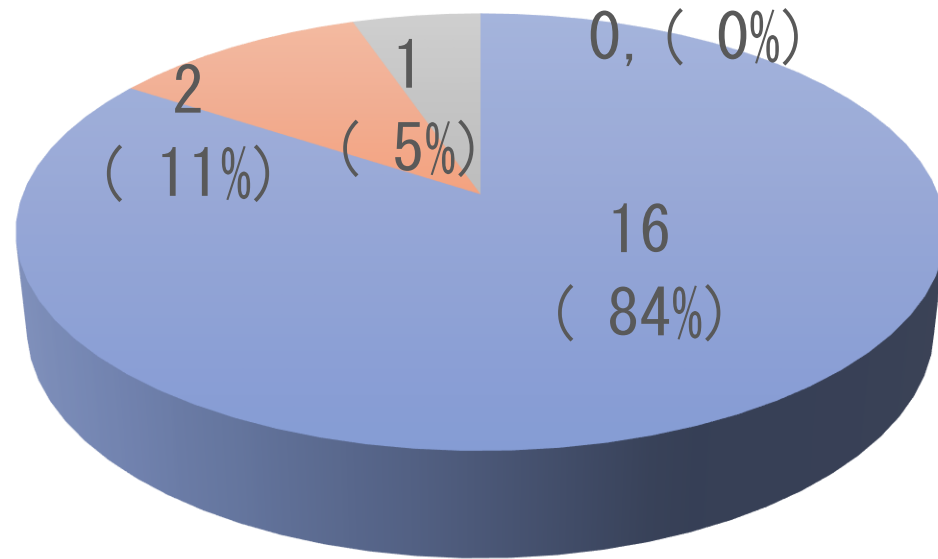


年度別ZEH水準以上戸数割合



【問2】 供給している住宅の断熱性能、省エネ機器、再生可能エネルギー設置状況について

省エネルギー基準の評価方法

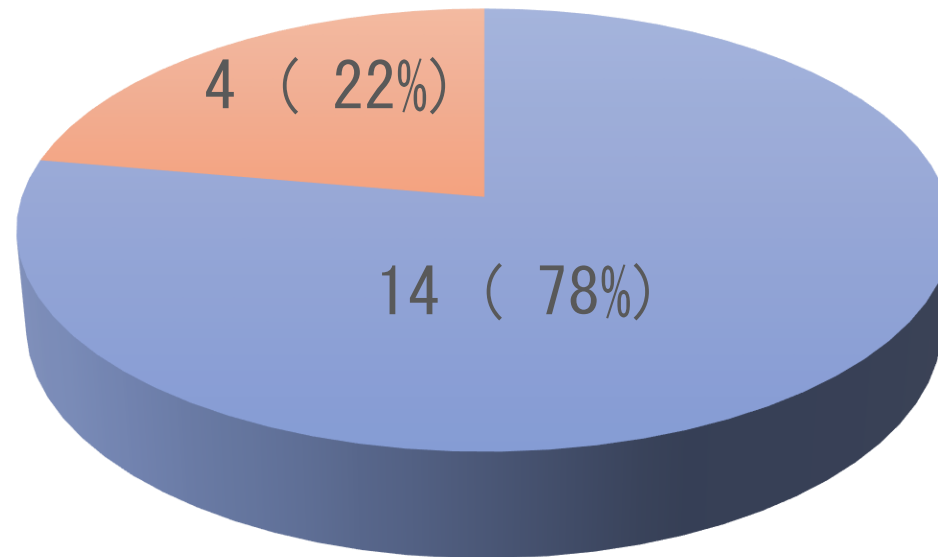


- 標準計算ルート
- 簡易計算ルート
- モデル住宅法
- 仕様ルート

木造戸建住宅の評価方法には4つの評価方法があり、計算ツールや計算に必要な値等が異なる。標準計算ルートが最も作業量が多く、精緻な方法である。

【問2】 供給している住宅の断熱性能、省エネ機器、再生可能エネルギー設置状況について

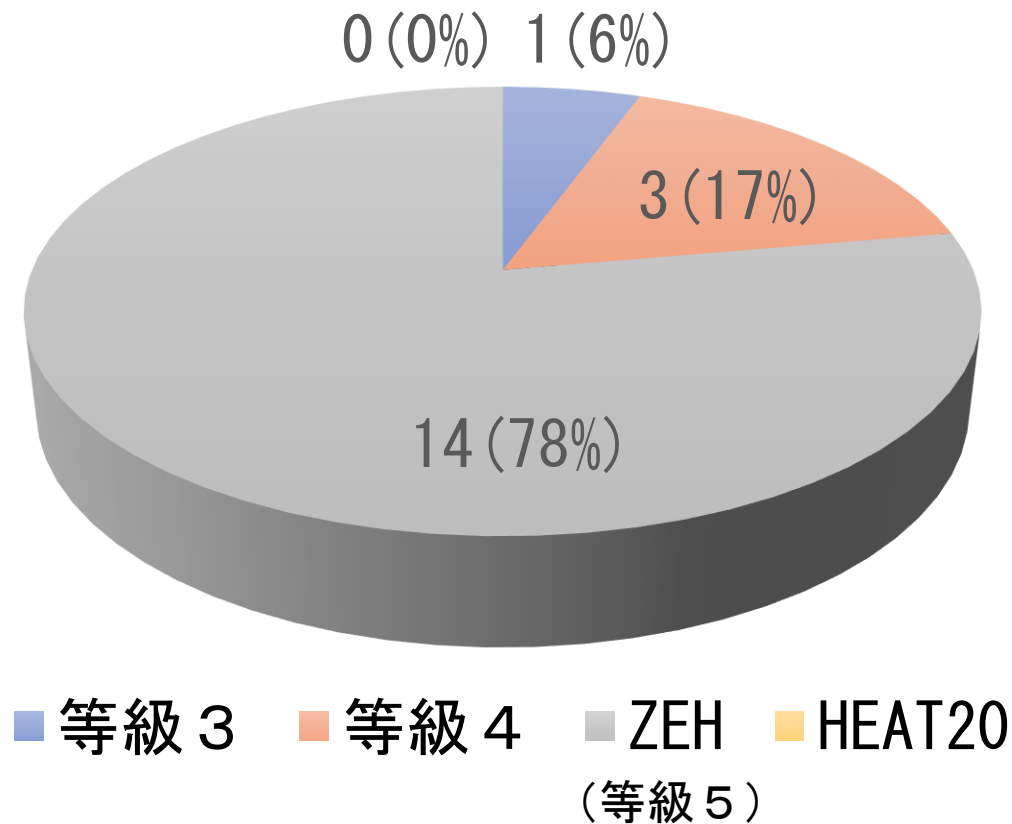
省エネルギー基準の評価方法（計算主体）



■ 自社で計算 ■ 外注

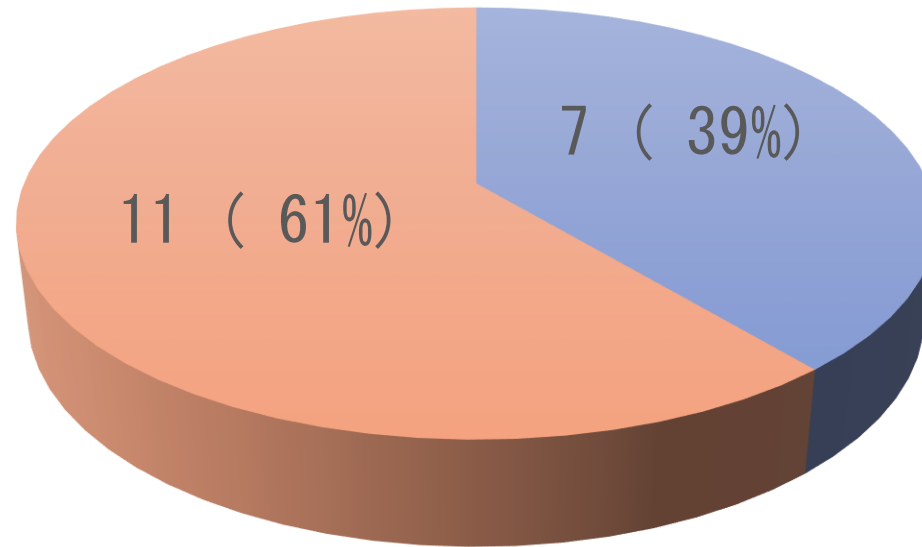
【問2】 供給している住宅の断熱性能、省エネ機器、再生可能エネルギー設置状況について

断熱性能（標準仕様）



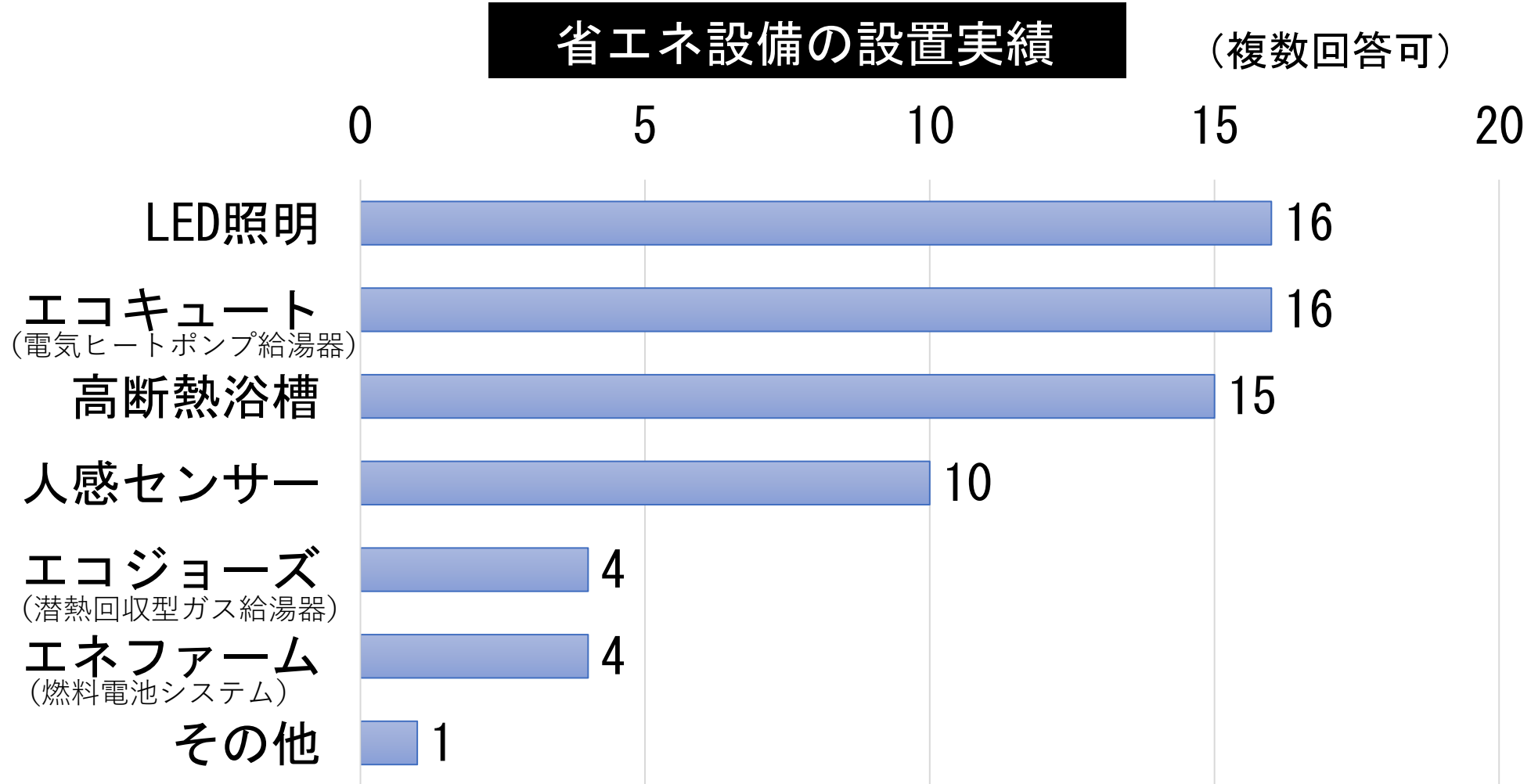
【問2】 供給している住宅の断熱性能、省エネ機器、再生可能エネルギー設置状況について

気密性能基準



- 設けている
- 設けていない

【問2】 供給している住宅の断熱性能、省エネ機器、再生可能エネルギー設置状況について

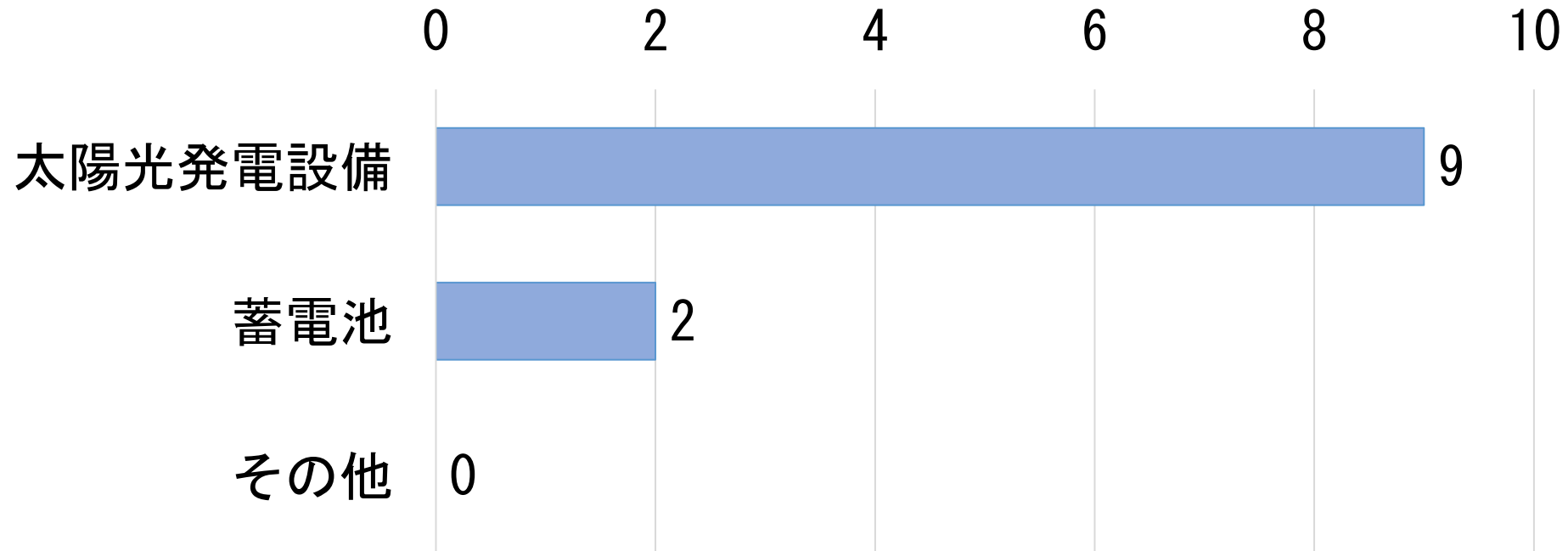


<自由意見> ・ 国の「こどもエコすまいる支援事業」補助金を取得するため、エコキュート、エネファーム等の採用が増加している。

【問2】 供給している住宅の断熱性能、省エネ機器、再生可能エネルギー設置状況について

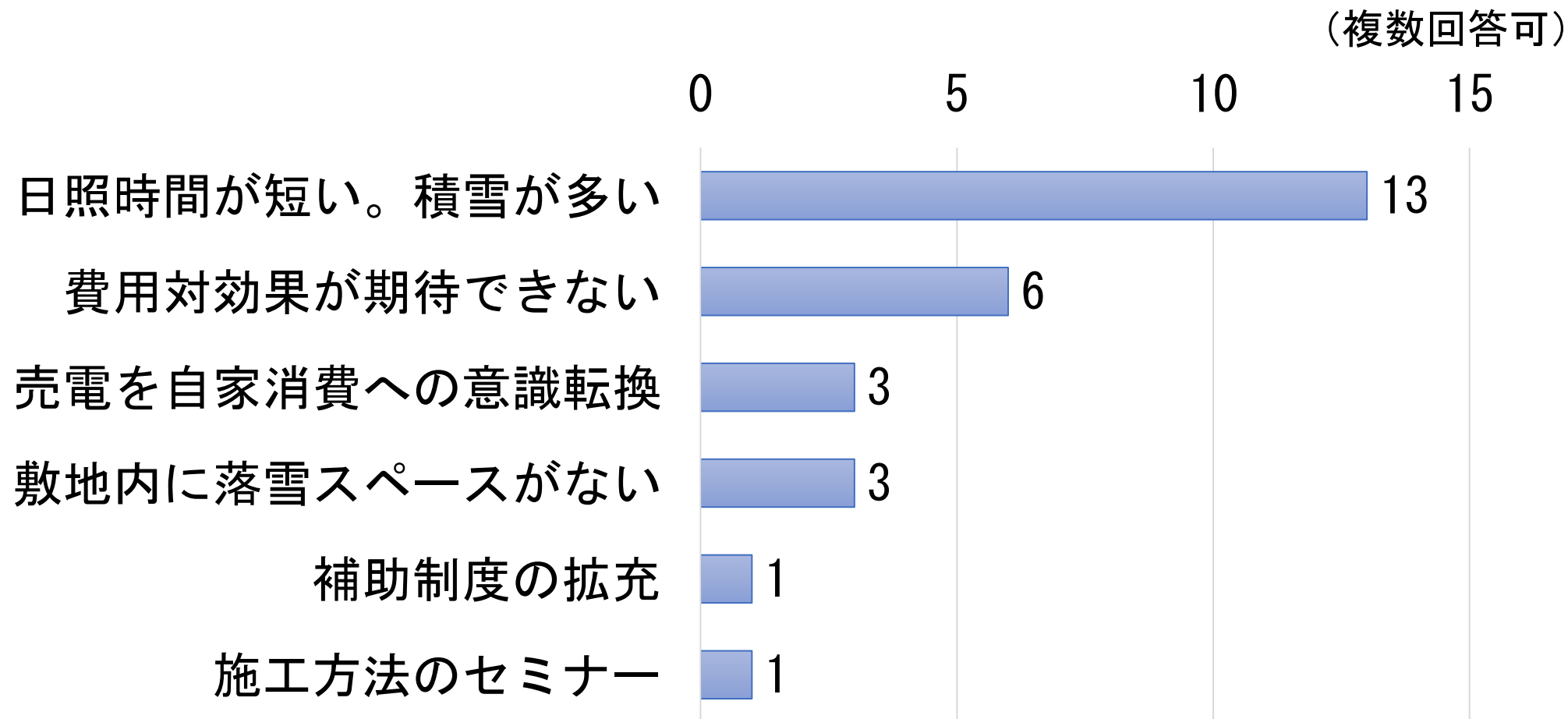
再生可能エネルギーの設置実績

(複数回答可)



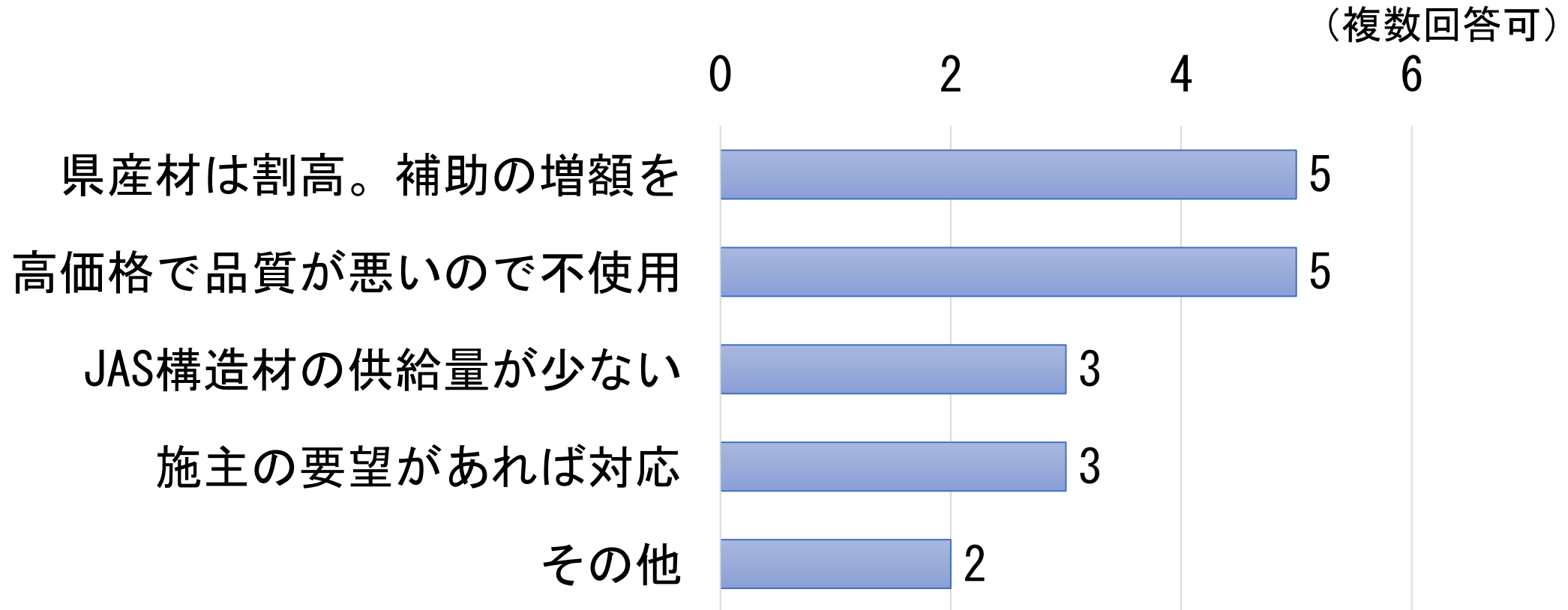
- <自由意見>
- ・カーボンニュートラル推進する上で、省エネと創エネは必須。
 - ・太陽光発電設備は既に採用しているが、蓄電池は高額のため未採用で、安くなれば採用したい。

【問3】太陽光発電設備の普及に係る課題について



<自由意見>・補助制度の拡充を望む意見や施工方法についてのセミナーを望む。

【問4】 県産材の利用に係る課題について

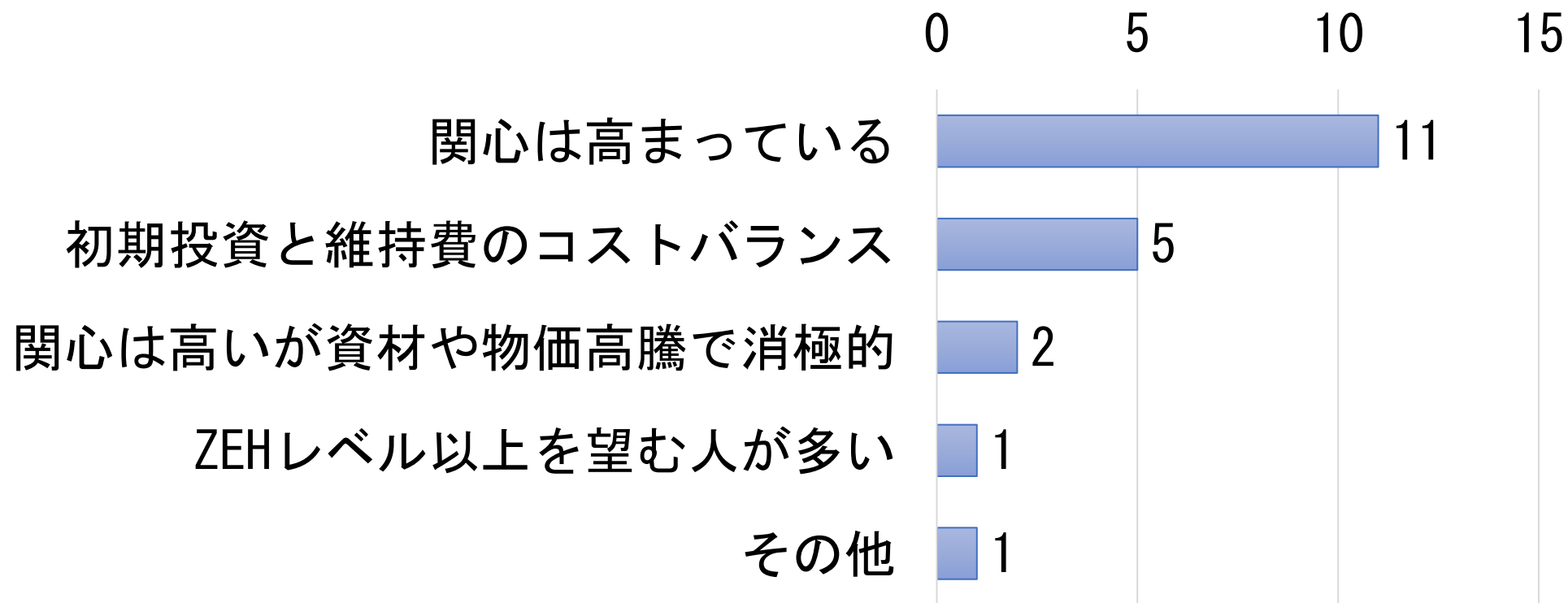


- <自由意見>
- ・ 利用促進の課題は安定供給ではなく、製品ストックと県産材の一元管理体制にある。
 - ・ ウッドマイレージの観点から、なるべく近隣材を使う努力をしている。

【問5】住宅の省エネと健康に関する消費者の傾向（住宅全般）、事業者としての課題・取組み事例について

（複数回答可）

消費者の傾向（関心）

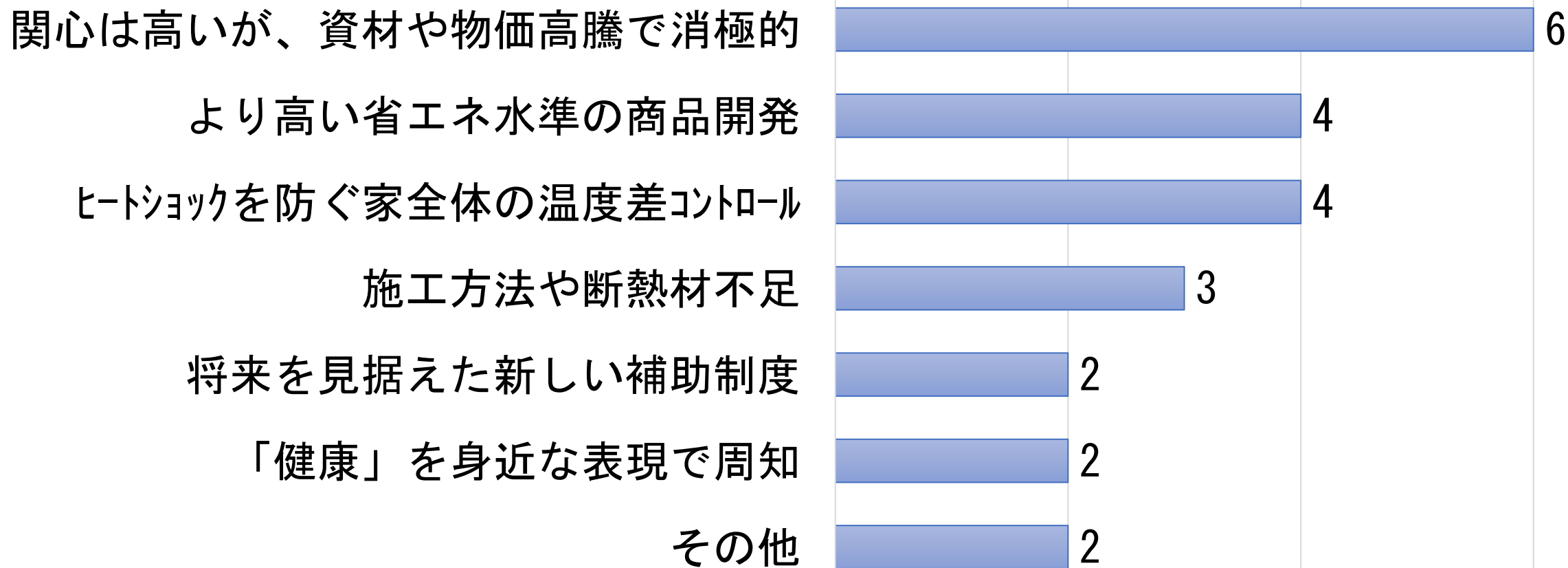


【問5】住宅の省エネと健康に関する消費者の傾向（住宅全般）、事業者としての課題・取組み事例について

課題

（複数回答可）

0 2 4 6

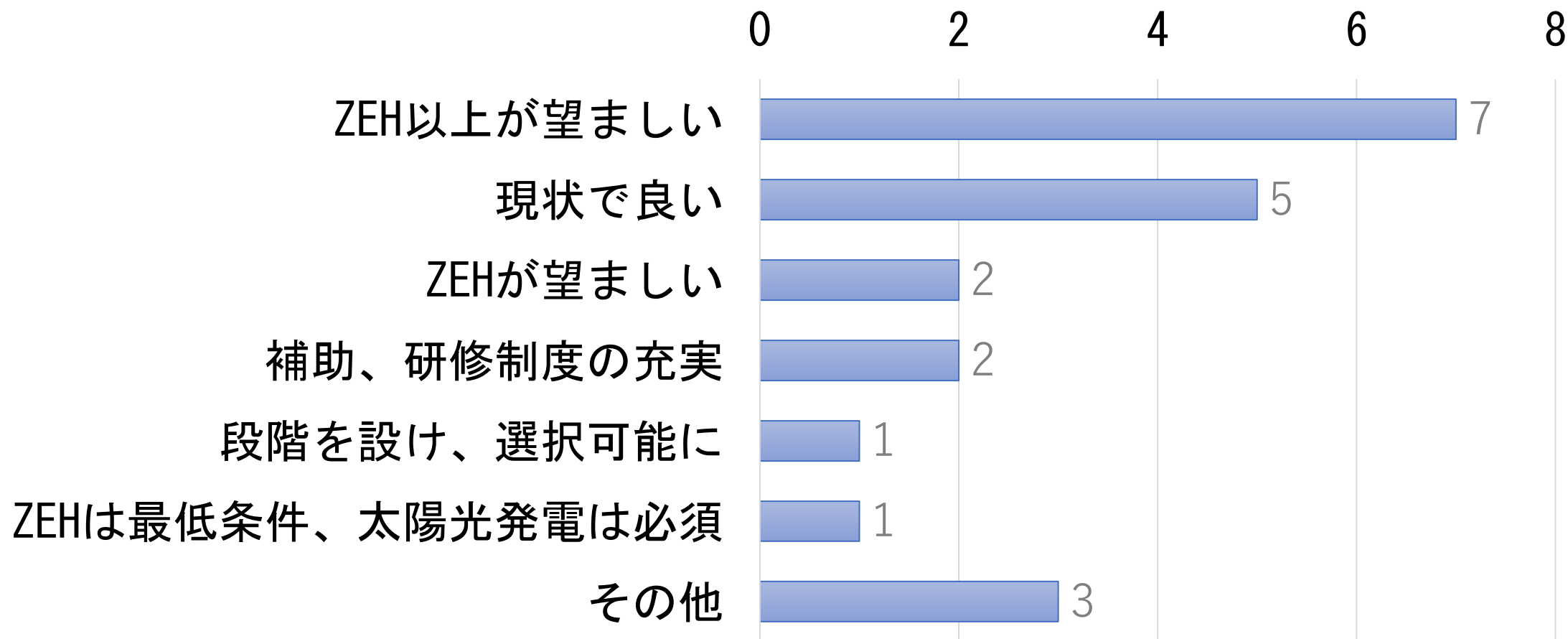


【問5】住宅の省エネと健康に関する消費者の傾向（住宅全般）、事業者としての課題・取組み事例について

取組み事例

- 断熱等級7等、基準以上のモデル住宅の商品開発（3）
- 温水床暖房
- 中古住宅のフルリノベーションの提案
- 冷暖房、自然通気等、家全体の空間計画
- 外皮計算を自社で行うことにより、消費者の負担を軽減
- 宿泊体験、セミナーを実施
- 断熱、施工方法の勉強会
- 断熱仕様の変更。実験棟での温度変化試験。
- 「So-Raファーム」はエネファーム+太陽光のセットサービス
- 太陽光発電設備のリース

【問6】 県独自の住宅性能水準（ZEH以上）の導入について

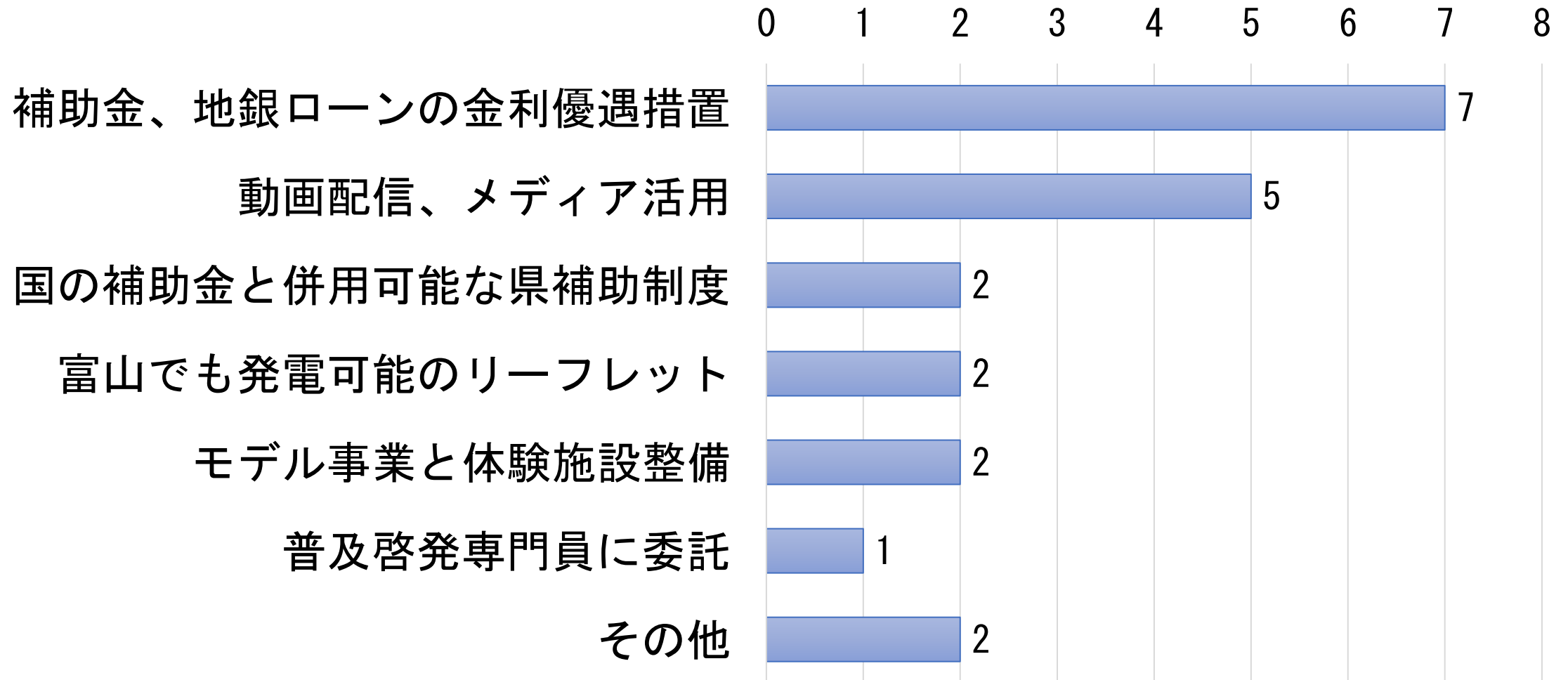


【問7】性能水準のプラス α について

- 地域特性として「湿気」対策がある。
- 設備面だけでなく、軒の出、植栽・通風、暖房計画、気候風土や環境特性に応じた快適性の確保。
- 防災の視点。（蓄電、非常用水タンクの設置）
- 太陽光パネルから落雪するため、積載荷重の軽減。
- 地域ごとの風向、日照等、自然を生かした基準。
- 県内は雨、雪が多いため、外壁の耐久性を検討を。
- 街に開かれた外観やスペースをもつ住宅に対する補助制度を。

【問8】性能水準の推進方策について

(複数回答可)



【問9】その他 1

- 発電・蓄電コントロール会社が注目されており、富山にモデルができれば参加したい。
- 省エネ+県産材+持続可能な社会+快適で豊かな富山の住まい、住まい方を総体で考えたい。
- 耐震性や防災対応等も合わせた制度の創設を望む。
- 既存住宅のZEHレベルの断熱改修については、耐震改修同様高齢者にとってはハードルが高い。
- 新築以上に既存住宅の性能向上は、エネルギー消費や健康維持にとっては待ったなしの状況。
- 富山型ウェルビーイング住宅（仮称）の取組みに期待している。他自治体で実施中の上位等級制度のための補助制度や融資制度はインパクトがある。一戸建て住宅の省エネ改修を支援する最大120万円の補助制度が示されたが、新築住宅に対しても期待している。
- 国の補助金との併用が普及につながると考えられる。
- BELS取得、気密測定の費用補助、気密測定技能者育成や機器購入に対する補助制度。

【問9】その他 2

既存住宅改修についての意見

(自由意見及びハウスメーカーに対する既存住宅改修についての追加質問より)

【補助制度について】

- 昨今の物価高に見合う補助制度の見直しや新築やリノベーション等、社会情勢に沿った補助制度の追加。
- 断熱改修に対する施主の負担が大きい(工期・費用・工事中の生活等)。省エネ改修した中古流通の補助。
- 住宅全体の断熱改修の計画実績がなく、部分断熱でも評価、補助対象になる制度があれば、LDKや水廻りの高断熱化(ZEH)も進めやすくなると思う。

【省エネの推進について】

- 新築時はLED照明、エコキュート等はオール電化が一般的だが、既存住宅の省エネをもっと推奨すべき。
- 新築以上に既存住宅の性能向上は、エネルギー消費量にとっても、健康維持にとっても待ったなしの状況。

【問9】その他 2

【改修の提案について】

- 新築が困難な世帯に対する中古住宅のフルリノベーション（断熱改修・耐震改修・間取り変更）の提案。
- 建物全体の省エネレベルを上げると予算オーバーになる場合でも、生活のメインとなるLDKだけでも断熱性能、耐震レベルを上げる提案をしている。

【その他の意見】

- 既存住宅のZEHレベルの断熱改修については耐震改修同様、高齢世帯に対して高いハードルとなっている。
- 一戸建て住宅の省エネ改修を支援する最大120万円補助が創設されたが、新築住宅に対しても期待している。
- 省エネ基準を満たしていない既存住宅のリフォームを進めているが、高額になるため施主に納得してもらえない。
- 既存住宅のUA値の計算は現実的には難しい。
- 現状はコスト優先で、省エネ対応まで実施する施主は少ない。既存住宅の躯体変更を伴う改装の場合は、新築同様の省エネ基準を設けることも必要。